

平成30(2018)年度

# 編入学 学生募集要項

編 入 学

文 学 部

編入学 (学士)

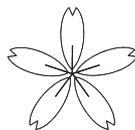
法 学 部

経 済 学 部

理 学 部

編入学 (高等専門学校出身者)

理 学 部



学 習 院 大 学

## — 目 次 —

|                          |    |
|--------------------------|----|
| アドミッションポリシー              | 3  |
| I. 編入学 — 文学部             | 5  |
| II. 編入学（学士） — 法学部・経済学部   | 9  |
| III. 編入学（学士） — 理学部       | 12 |
| IV. 編入学（高等専門学校出身者） — 理学部 | 15 |
| 参考                       | 18 |
| 納付金                      |    |
| 過去の入試結果                  |    |
| 入学検定料の返還について             |    |
| 構内案内図                    |    |

### 個人情報取り扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。出願及び入学手続においてご記入いただいた住所、氏名、生年月日などの個人情報は、入学試験の実施、合格発表、入学手続及びそれらに付随する業務の処理以外には利用しません。

また、処理業務の一部は、本学アドミッションセンターより機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

## アドミッションポリシー

学習院はすべて社会的地位や身分にかかわらず広く男女学生を教育することを本旨として、教育基本法及び学校教育法に基づいて学習院が設置する各学校の学則の定めるところによってこれらの男女に幼児の保育から大学教育に至る一貫した教養を与え、高潔な人格、確乎とした識見並びに近代人にふさわしい健全で豊かな思想感情を培い、これによって人類と祖国とに奉仕する人材を育成することを目的としていますが、学習院大学は、その精神に基づき精深な学術の理論と応用とを研究教授し、有用な人材を育成し、もって文化の創造発展と人類の福祉に貢献するという目的の実現に向け、正課の教育課程による学業を修めるとともに、正課外の活動にも積極的に取り組むことのできる学力と資質を備えた学生を求めます。そのため、一般入試や指定校推薦入学、編入学試験など、様々な入学制度を設けています。高等学校もしくは中等教育学校卒業に相当する学力と資質があれば、国籍や年齢は問いません。入学後は、多様な学生が、多様性を尊重し、ゆたかな可能性を切り拓き、能力を高めあうことを期待します。

**法学部**は、法と政治を中心とする専門分野を深く掘り下げながら、できるだけ広い視野で、現代社会の諸現象・諸問題を把握・分析する高度な能力を養うことを、教育の目的としています。温かい人間性を持つと同時に、真理を追究する気持ちを大切に人、自分で問題を発見し、思考し、時宜に応じた判断を下すことのできる人を、少人数教育を通じて養成するというのがその目標です。法学部には、法学科と政治学科があります。

**法学科**は、法の理念、法の体系と仕組み、法による具体的な争いの解決について学ぶことで培うことのできる論理的な思考方法、正義についての鋭い感覚とバランスの取れた判断力を発揮して、社会の様々な分野において活躍することができる人の養成をその教育方針の基本としています。

**政治学科**は、スクール・オブ・ガヴァメントの理念の下、政治学・国際関係・社会学を学ぶことで培うことのできる社会に対する深い洞察力と幅広い教養を土台にして、社会の様々な分野において、高い指導力と問題解決能力を発揮してリーダーとなる人の養成をその教育方針としています。とりわけ、意欲ある学生に対しては、1年次末または2年次末の段階で選抜を実施し、特別選抜（FT）コースにおいて、密接な指導を通じて英語力や分析力などの能力を培い、国の内外を問わず多様な分野において実践的で高度な専門知識と経験を身につけた、リーダーにふさわしい人々を養成しています。

以上のことから、法学部は、社会の現実の動きとその基礎となる制度に関心がある人に、とくに向いています。また、法学、政治学、国際関係、社会学、どの分野も、学問研究の発達と実践への応用における変化が著しい領域です。知的好奇心がある人にとってはたくさんの知的刺激があります。新しいことへの挑戦に怯まない人にはその意欲と能力とを十分に生かせる機会があります。社会的な関心、知的な好奇心、あるいは、チャレンジ精神が旺盛、このどれか一つでも自分に当てはまると思う人に、学習院大学法学部は向いています。

法学部で学ぶことになる現代の社会科学分野では、統計分析や数学に基づくモデル、生命現象などを適切に理解することが必要な場面が多くなっています。そこで法学部を志望するならば、高校時代には文系科目、理系科目を問わず、幅広くさまざまな科目を満遍なく積極的に履修することを期待します。もちろん、大学においては、高校まで何をしてきたかではなく、これから何をしようとしているのか、その意欲があるかが大きな意味をもちますが、そのような「何かをする土台」として、高校時代の偏らない学習を重視します。

**経済学部**は、現代社会が直面している国内および世界の様々な経済・経営問題を解決する能力と豊かな創造力並びに優れた人格を備えた人材を育成することを目的としています。

**経済学科**の教育目的は、現代社会が直面している国内および世界の様々な経済問題に対して、理論的理解、政策課題の設定、有効な解決策の検討等の諸側面にわたる能力を身につけ、かつ、優れた人格を備えた人材を育成することです。

**経営学科**は、よりグローバル化・複雑化する企業環境の中で高い問題解決能力と豊かな創造力を持った人材を育成するという社会の要請に応えることを教育上の目標としています。

本学部志望者に求められる資質としては、論理的な表現と議論を通じて問題解決をもたらすため、国語および外国語によるコミュニケーションの能力はきわめて重要です。また、経済・経営問題について理論的に理解し分析するために、数学の基礎能力も必要です。さらに、複雑化した現代の社会問題を科学的に理解するため、高等学校における地理歴史・公民に属する教科を幅広く学ぶ姿勢が望まれます。これらに加えて、多様な価値観を理解し、豊かな創造力と優れた人格を身につけてゆくため、高等学校における各教科を偏りなく学ぶことは大切な前提となります。

**文学部**の行う教育の目標は、人文科学諸分野の研究内容を理解し、研究方法を取得した学生自らが、人文科

学研究の創造を行うところにあります。文学部各学科で文化創造の経験をさせることによって、社会の一員として、社会全体の文化を考え、文化を支え、文化を創造する担い手を育てることを目的としています。

**哲学**は、東西の哲学・思想史及び美学・美術史の領域における知識と考え方を教え、学生が各々の研究課題を自立的に追究できるよう指導することによって、専門知識を生かして活動する人材の育成はもとより、広くよりよく生きる力としての教養と思索力を身につけた社会人の育成を目指しています。

**史学**は、歴史学が蓄積してきた成果を受け継ぐとともに、あらたな時代の要請に応えられる歴史研究を目指し、学生には文献など諸資料の分析をつうじて自主的な歴史のとらえ方を身につけさせるとともに、現代社会の状況に的確かつ柔軟に対応できる思考力を備えた人材の育成を目指しています。

**日本語日本文学**は、古代から現代までの日本語・日本文学・日本文化、国際的な視野に基づいた日本語教育・言語学などに関する授業を通して、実証的で堅実な研究方法を身につけるとともに、創意に満ちた国際的な感覚や学際的な関心をもった人材の育成を目指しています。

**英語英米文化**の教育目標は、英語圏の文化ないし英語学を考究することで、各国の文化を知り、国際的な視野を持った人間性豊かな人材を育てることです。同時に、自分の意見を伝達する英語能力養成のため、徹底的な語学教育を行い、運用英語のエキスパートを育てることを目指しています。

**ドイツ語圏文化**の教育目標は、高いレベルのドイツ語運用能力を養成するとともに、ドイツ語圏における文化的・社会的現象の研究を通して新たな視座を形成することにあります。それにより批判的に物事を捉え、自立した問題解決能力・自己表現能力を身につけた人材の育成を目指しています。

**フランス語圏文化**の教育目標は、高度な語学力をもとにフランス語圏の文化の多角的な研究を通して、多様な価値観を持つ世界の中に自らを位置づける視野を獲得させることにあります。専門性を活用しつつ、複雑化する社会の中で、自立的に世界を切り拓いて行ける人材を育成することを目指しています。

**心理学**は、幅広い知識と心理学的方法を身につけた上で、学生が自らの関心に沿ってテーマを選択し、自立的に研究を進めることができる能力を育むことによって、心理学的な視点で問題解決することができる人材を育成することを目指しています。

文学部志望者には、高校での学習において、文系科目だけでなく、理系の科目についても深く積極的に学んで、広い視野を養うことを期待します。それも単に与えられた問題に対して解答するというのではなく、何ごとに対しても疑問をもち、自分自身で問題点を発見し、自身で考えてみるという態度が必要です。

**理学部**での教育の目標は、「物事の根本を論理的・実証的に分析・考察する能力、その結果を総合し実地に活かす技能、考えや知識を他人に的確に伝える技術を備えた人材」を育成し社会に送り出すことです。そのため、**数学、物理学、化学、生命科学**という現代科学の基盤をなす分野において、応用のための知識ではなく、どのような局面にも対応できる真の基礎を身につけてもらうために、時間と手間をかけた少人数制の教育を実践しています。

理系の学問分野についての能力や知識があることはもちろん望まれますが、それ以上に、自分の頭でしっかりと物考えること、自分の目で自然や数理の世界を観察すること、そして、自分の手を動かして実験したり計算したりすることが好きな、熱意と好奇心にあふれる若者を求めています。積極的な学生は、入学早々から一流の研究者である教員と「仲間」のように接して学問の世界について語り合うことができます。これは多数の学生を抱えるマンモス大学では決して味わえない贅沢です。

多くの熱意のある若者にこのような教育を受けてもらえるように、一般入試、指定校推薦入学、理学部公募制推薦入学、内部推薦進学、外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入学、編入学によって幅広い入学者を確保しています。これらの選考にあたっては、単なる暗記物の知識の量を試すのではなく、科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っているかどうかを試すことを心がけています。また、入学者の選抜にあたって何よりも公正さと機会の平等を重視しています。入学生に求められるのは、理学部の各学科で有意義に学ぶための条件と十分な基礎学力を持っていることだけです。それ以外の資質は入学者の選考とは無関係です。

多様な個性と資質を持った学生に学習院大学理学部の理想的な環境での教育を享受する機会を与えるべきだというのが私たちの信念です。それら多様な学生と接しながら、個々の特性を伸ばして社会で活躍できる一流の人材に成長してもらう手伝いをするのが、わたしたち教育者の使命なのです。入学試験の得点だけに基いて合否を決める一般入試の場合にはこの方針が守られていることは明らかですが、それ以外の面接等を併用した入学者の選考においても基礎学力と本学で学ぶ熱意だけを基準に厳格な選考を行っています。

なお、理学部の教育では、英語の文献を読んだり、自分の研究内容を発表したり論文にまとめたりする機会も多くあります。入学前には、いわゆる理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野の本を読まれることを望んでいます。

# I. 編 入 学 一 文 学 部

## ① 趣 旨

すでに大学教育を2年以上受けた者（見込みまたは下記の③出願資格を満たす者を含む）で、学習院大学文学部において勉強を継続しようとする者を対象とする編入学試験です。編入学年は、一律3年次とします。

## ② 募集人員

| 学 部   | 学 科                 | 募集人員  |
|-------|---------------------|-------|
| 文 学 部 | 哲 学 科               | 若 干 名 |
|       | 史 学 科               | 〃     |
|       | 日 本 語 日 本 文 学 科     | 〃     |
|       | 英 語 英 米 文 化 学 科     | 〃     |
|       | ド イ ツ 語 圏 文 化 学 科   | 〃     |
|       | フ ラ ン ス 語 圏 文 化 学 科 | 〃     |
|       | 心 理 学 科             | 〃     |

※ 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

## ③ 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者。

- ① 短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成30年3月に卒業見込みの者。
- ② 学士の学位を有する者または平成30年3月までに取得見込みの者。
- ③ 修業年限4年以上の大学に2年以上在学した者で、60単位以上を修得している者。（教職・資格科目の場合、卒業のために修得が必要な科目であれば、60単位に含めることができる）
- ④ 修業年限4年以上の大学に、平成30年3月をもって2年以上在学したことになり、60単位以上を修得する見込みである者で、1年次において既に30単位以上を修得している者。（教職・資格科目の場合、卒業のために修得が必要な科目であれば、修得見込の60単位、および既に修得した30単位に含めることができる）

ただし、ドイツ語圏文化学科を志望する場合は、前各号のいずれかに該当し、かつ次に該当する者。

既にドイツ語に関わる科目を16単位以上修得している者、あるいは独検3級以上またはGoethe-Zertifikat A2以上を取得している者。

また、外国の教育機関において、あるいは日本の学校教育法に定めるもの以外の大学・短期大学において、前各号のいずれかの出願資格に相当する学校教育の課程を経ている者もしくは、ドイツ語圏文化学科を志望する者は、平成29年10月16日(月)から10月19日(木)の期間に、必ず出願資格の有無を本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

この期間に出願資格が確認されていない場合、出願が受理されないことがあります。

※上記の出願資格に該当する者のうち、卒業見込み・学位取得見込み・出願資格単位修得見込みの者が、平成30年3月31日（土）までに卒業・学位取得・出願資格単位修得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

## 出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することはできません。
3. 外国語科目も含めて、前の学校で取得した単位がすべて本学文学部の卒業に必要な単位として認定されるわけではありません。この単位認定は、入学後、前の学校での最終的な成績証明書をもとに行います。したがって、認定される科目、単位数、外国語科目（本学文学部では2ヶ国語の外国語科目が必修となっ

ています) の取得状況などによっては、編入後2年間で卒業することが難しい場合もあります。

4. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。  
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、10月19日(木)までに必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

#### 4 出願手続

##### 1. 出願期間：平成29年10月30日(月)～11月1日(水)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

出願期間を過ぎたもの、または出願書類に不備があるものは受理しません。

##### 2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒(角形2号)に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類をすべて本学アドミッションセンター宛に簡易書留(かつ速達扱い)で郵送してください。**下表の書類以外の提出は、一切認めません。**

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

提出書類 (◎全員必須/○該当者必須/△任意/－不要)

| 出願資格 |   |   |   | 出願書類                                | 備考  |
|------|---|---|---|-------------------------------------|---|
| ①    | ② | ③ | ④ |                                     |   |
| ◎    |   |   |   | 1. 編入学志願票<br>2. 写真票兼入学検定料受取書(大学提出用) | 本学所定の用紙<br>貼付する写真2枚(縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。) |
| ○    | ○ | － | － | 3. 卒業証明書(または卒業見込証明書)                | 出身または在学の大学・学校の学長・校長もしくは学部長が証明したもの。  |
| －    | － | ○ | ○ | 4. 在学証明書(在学年次を明示したもの)または退学証明書       | 大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者は授与(見込)証明書を提出してください。   |
| ◎    |   |   |   | 5. 成績証明書                            | 出願資格④に該当する者は、各科目の履修年次が記載されている成績証明書を提出する必要があります。<br>学校の発行する成績証明書に履修年次が明記されていない場合、成績証明書に代わって、1年次の学年末に交付された成績表を添付してください。   |
| －    | － | － | ○ | 6. 修得見込科目記入票                        | 本学所定の用紙<br>出願資格④に該当する者のみ提出してください。   |
| ○    |   |   |   | 7. 外国語に関する既取得資格等記入票                 | 本学所定の用紙<br>特定の資格を取得している者のみ提出してください。   |
| ○    |   |   |   | 8. 外国語に関する検定試験合格証明書等のコピー            | ドイツ語・フランス語に関して、7の記入票に既取得資格等を記した場合は、その合格を証明する書類または出願時に有効な公式スコア(資格証書)のコピーを提出してください。                                       |

※証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

※日本語日本文学科を志望する者は、入学後に希望する系の名前(日本語日本文学系、日本語教育系のいずれか)を「本学志望の動機・理由」欄の冒頭に記すこと。

※英語英米文化学科・フランス語圏文化学科を志望する者は、入学後に希望するコース名および希望する指導教員(希望するゼミの教員)の名を「本学志望の動機・理由」欄の冒頭に記すこと。

※ドイツ語圏文化学科を志望する者は、入学後に希望するコース名を「本学志望の動機・理由」欄の冒頭に記すこと。

## ⑤ 出願手続に関する注意

### 1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ **現金自動預払機(ATM)、インターネットによる振込みは使用しないでください。**
- ④ 振込依頼書(取扱店保存)のコード欄には、下表の志望学科のコード(2桁)を記入してください。

| 文 学 部    |    |            |    |
|----------|----|------------|----|
| 哲 学 科    | 31 | ドイツ語圏文化学科  | 35 |
| 史 学 科    | 32 | フランス語圏文化学科 | 36 |
| 日本語日本文学科 | 33 | 心 理 学 科    | 37 |
| 英語英米文化学科 | 34 |            |    |

- ⑤ 振込期間 平成29年10月23日(月)～11月1日(水) **(期間外は取り扱いません)**
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書(大学提出用)を他の出願書類と共に提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします(19頁参照)。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。  
また、振込手数料については返還することができません。

### 2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

試験日一週間前になっても受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

## ⑥ 選 考

### 1. 試験日 平成29年12月2日(土)

### 2. 試験科目及び試験時間

| 学科         | 時間                                     | 筆 記 試 験          |                                       | 面 接  |
|------------|--|------------------|---------------------------------------|--|
|            |  | 9:00～10:00 (60分) | 10:20～11:50 (90分)                     |  |
| 哲 学 科      | 哲学史または芸術史<br>(小論文を含みます)                |                  | 外国語原書読解(英語・ドイツ語・フランス語・漢文のうちから2科目選択)注1 | 各学科の研究室において面接を行います。<br>詳しい集合時間は筆記試験当日にお知らせします。 |
| 史 学 科      | 外国語(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから1言語選択)注2 |                  | 歴史(小論文を含みます)                          |  |
| 日本語日本文学科   | 外国語(英語・ドイツ語・フランス語・中国語・日本語のうちから1言語選択)注2 |                  | 国語(古文を含みます)及び小論文 ～12:20               |  |
| 英語英米文化学科   |  |                  | 英語及び英語による小論文                          |  |
| ドイツ語圏文化学科  |  |                  | ドイツ語及び専門(小論文)                         |  |
| フランス語圏文化学科 |  |                  | フランス語                                 |  |
| 心 理 学 科    | 外国語(英語・ドイツ語・フランス語のうちから1言語選択)           |                  | 心理学                                   |  |

注1. 哲学科の外国語原書読解については、選択した2科目の辞書をそれぞれ1冊、持ち込むことができます(電子辞書は不可)。なお、辞書の貸与は一切しません。

注2. 史学科及び日本語日本文学科の外国語試験は、母語を選択することはできません。

### 3. 試験場 受験票にてお知らせします。

## 受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話等は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話等を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
4. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机上に置いてください。
5. 受験票以外に机上に置くことができるものは、鉛筆・ボールペン・鉛筆削り・消しゴムです。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
6. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
7. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

## 7 合格発表

平成29年12月8日(金) 10:00

1. 合格発表は、本学北1号館の北側掲示場（20頁 構内案内図参照）に公示するほか、受験した本人にも通知します。合格者には、併せて入学手続書類を速達郵便で送付します。
2. 合否に関する問い合わせには、一切応じません。
3. 合格者の発表は、本学学内掲示以外にも補助的な手段として、発表日の正午より学習院大学アドミッションセンターホームページ（<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>）でも行います。最終的な合否の確認は、必ず本学学内掲示または郵送による合否通知で行ってください。

## 8 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

1. 合格者は、平成30年1月5日(金)までに納付金を原則として一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。  
※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。

### 2. 入学手続時納付金

平成30年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として18頁に平成29年度の納付金を掲載します。  
なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

## 授業料などの延納手続きについて

授業料などの延納を希望する場合は、平成30年1月5日(金)までに入学金を納入すれば、平成30年3月8日(木)まで延納分の授業料などを延納することができます。

## 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、平成30年3月31日(土)16時までに、本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

## 納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部学科または大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部学科または大学院の納付金として転用することができます。この手続方法などについては、本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

## 9 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

## Ⅱ. 編入学（学士） — 法学部・経済学部

### ① 趣 旨

学士の資格を有する者または出願の年度の3月までに学士の資格を取得する見込みの者で、本学第3年次に入学を志願する者には、学部の定めるところにより選考の上、入学を許可することがあります。

### ② 募集人員

| 学 部     | 学 科     | 募集人員  |
|---------|---------|-------|
| 法 学 部   | 法 学 科   | 若 干 名 |
|         | 政 治 学 科 | 〃     |
| 経 済 学 部 | 経 済 学 科 | 〃     |
|         | 経 営 学 科 | 〃     |

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

### 入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

### ③ 出願資格

学士の学位を有する者または平成30年3月までに取得見込みの者

※学士の学位を取得見込みの者が、平成30年3月31日（土）までに取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

### 出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することができません。
3. 編入学者の履修科目は、各学部の定めるところによります。
4. **以前在学した大学等において修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、入学後に最終的な成績証明書をもとに各学部教授会において行います。**
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。  
ただし、**身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を要する場合は、平成29年11月29日(水)までに必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。**
6. 出願資格及び出願書類等に疑問のある場合は、平成29年11月27日(月)～11月29日(水)の間に、必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。この期間に出願資格が確認されない場合、出願が受理されないことがあります。

### ④ 出願手続

#### 1. 出願期間：平成30年1月5日(金)～1月10日(水)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

出願期間を過ぎたものまたは出願書類に不備があるものは、受理しません。

#### 2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類をすべて本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。**記載の書類以外の提出は、一切認めません。**

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 編入学志願票                      | <b>本学所定の用紙</b><br>必要事項を記入してください。   |
| 2. 写真票兼<br>入学検定料受取書<br>(大学提出用) | 貼付する写真2枚(縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。) |
| 3. 卒業証明書または<br>卒業見込証明書         | 出身または在学の大学長もしくは学部長が証明したもの。大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者または授与される見込みの者は、授与(見込)証明書を提出してください。                      |
| 4. 成績証明書                       | 証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。  |

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

## 5 出願手続に関する注意

### 1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ **現金自動預払機(ATM)、インターネットによる振込みは使用しないでください。**
- ④ 振込依頼書(取扱店保存)のコード欄には、下表の志望学科のコード(2桁)を記入してください。

| 法 学 部   |    | 経 済 学 部 |    |
|---------|----|---------|----|
| 法 学 科   | 11 | 経 済 学 科 | 21 |
| 政 治 学 科 | 12 | 経 営 学 科 | 22 |

- ⑤ 振込期間 平成30年1月4日(木)～1月10日(水) **(期間外は取り扱いません)**
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書(大学提出用)を他の出願書類と共に提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします(19頁参照)。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。  
また、振込手数料については返還することができません。

### 2. 受 験 票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

試験日一週間前になっても受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

## 6 選 考

### 1. 試験日 平成30年2月20日(火)

### 2. 試験科目及び試験時間

| 学部・学科            |         | 筆 記 試 験                                 |                                      | 面 接                                 |
|------------------|---------|---|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 法<br>学<br>部      | 法 学 科   | 9:00～10:00 (60分)                        | 10:00～11:00 (60分)                    | 筆記試験終了後                             |
|                  | 政 治 学 科 | 小 論 文<br>法 学<br>政 治 学<br>社 会 学<br>1科目選択 | 英 語<br>ド イ ツ 語<br>フ ラ ン ス 語<br>1科目選択 | ※法学科のみ実施<br>時間・場所は試験当日<br>にお知らせします。 |
| 経<br>済<br>学<br>部 | 経 済 学 科 | 9:00～10:00 (60分)                        | 10:00～11:00 (60分)                    | 13:00～                              |
|                  | 経 営 学 科 | 経 済 学<br>経 営 学<br>1科目選択                 | 英 語                                  | 時間・場所は試験当日<br>にお知らせします。             |

(注) 法・経済学部共に筆記試験では途中休憩はありません。

### 3. 試験場 受験票にてお知らせします。

#### 受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話等は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話等を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
4. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
5. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・ボールペン・鉛筆削り・消しゴムです。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
6. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
7. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

#### 7 合格発表

平成30年3月9日(金) 10:00

1. 合格発表は、本学北1号館の北側掲示場（20頁 構内案内図参照）に公示するほか、受験した本人にも通知します。合格者には、併せて入学手続書類を速達郵便で送付します。
2. 合否に関する問い合わせには、一切応じません。
3. 合格者の発表は、本学学内掲示以外にも補助的な手段として、発表日の正午より学習院大学アドミッションセンターホームページ（<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>）でも行います。最終的な合否の確認は、必ず本学学内掲示または郵送による合否通知で行ってください。

#### 8 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

1. 合格者は、平成30年3月14日(水)までに納付金を原則として一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。  
※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。
2. 入学手続時納付金  
平成30年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として18頁に平成29年度の納付金を掲載します。  
なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

#### 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、平成30年3月31日(土)16時までに、本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

#### 納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部学科または大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部学科または大学院の納付金として転用することができます。この手続方法などについては、本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

#### 9 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

### Ⅲ. 編入学（学士） — 理学部

#### ① 趣 旨

学士の資格を有する者または出願の年度の3月までに学士の資格を取得する見込みの者で、本学第3年次に入学を志願する者には、学部の定めるところにより選考の上、入学を許可することがあります。

#### ② 募集人員

| 学 部   | 学 科     | 募集人員  |
|-------|---------|-------|
| 理 学 部 | 物 理 学 科 | 若 干 名 |
|       | 化 学 科   | 〃     |
|       | 数 学 科   | 〃     |

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

#### 入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

#### ③ 出願資格

学士の学位を有する者または平成30年3月までに取得見込みの者で、希望する学科へ編入学ができる科目に相当する学科目の単位を修得している者。

なお、学士の学位を取得見込みの者が、平成30年3月31日（土）までに取得できなかった場合は、入学許可を取り消します。

※出願希望者は、平成29年10月16日(月)から10月19日(木)の期間に、必ず出願資格の有無を本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。この期間に出願資格が確認されていない場合、出願を認めません。

#### 出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することはできません。
3. 編入学者の履修科目は、各学科の定めるところによります。
4. 以前在学した大学等において修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、入学後に最終的な成績証明書をもとに理学部教授会において行います。
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。  
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を要する場合は、平成29年10月19日(木)までに必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。
6. 出願書類等に疑問がある場合は、平成29年10月16日(月)～10月19日(木)の間に、必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

#### ④ 出願手続

1. 出願期間：平成29年10月30日(月)～11月1日(水)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

出願期間を過ぎたものまたは出願書類に不備のあるものは、受理しません。

2. 出願書類等

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類をすべて本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。記載の書類以

外の提出は、一切認めません。

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 編入学志願票                      | <b>本学所定の用紙</b><br>必要事項を記入してください。<br>貼付する写真2枚（縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。） |
| 2. 写真票兼<br>入学検定料受取書<br>(大学提出用) |  |
| 3. 卒業証明書または<br>卒業見込証明書         | 出身または在学の大学長もしくは学部長が証明したもの。大学評価・学位授与機構によって学士の学位を授与された者または授与される見込みの者は、授与（見込）証明書を提出してください。  |
| 4. 成績証明書                       | 証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。  |

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

## ⑤ 出願手続に関する注意

### 1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ **現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込みは使用しないでください。**
- ④ 振込依頼書（取扱店保存）の**コード欄**には、下表の志望学科のコード（2桁）を記入してください。

| 理 学 部   |    |
|---------|----|
| 物 理 学 科 | 41 |
| 化 学 科   | 42 |
| 数 学 科   | 43 |

- ⑤ 振込期間 平成29年10月23日(月)～11月1日(水) **(期間外は取り扱いません)**
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）を他の出願書類と共に提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（19頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。  
また、振込手数料については返還することができません。

### 2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

試験日一週間前になっても受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

## ⑥ 選 考

### 1. 試験日 平成29年12月2日(土)

### 2. 試験科目及び試験時間

| 学部・学科                                    | 筆 記 試 験                    | 面 接 |
|--|----------------------------|-----|
| 理<br>学<br>部<br>物 理 学 科<br>化 学 科<br>数 学 科 | 試験科目等については、願い出があった場合に定めます。 |     |

### 3. 試験場 受験票にてお知らせします。

## 受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話等は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話等を時計の代用として使用することは一切認めません。スマートフォン・携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
3. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
4. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
5. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・ボールペン・鉛筆削り・消しゴムです。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
6. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
7. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

## 7 合格発表

平成29年12月8日(金) 10:00

1. 合格発表は、本学北1号館の北側掲示場（20頁 構内案内図参照）に公示するほか、受験した本人にも通知します。合格者には、あわせて入学手続書類を速達郵便で送付します。
2. 合格に関する問い合わせには、一切応じません。
3. 合格者の発表は、本学学内掲示以外にも補助的な手段として、発表日の正午より学習院大学アドミッションセンターホームページ（<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>）でも行います。最終的な合否の確認は、必ず本学学内掲示または郵送による合否通知で行ってください。

## 8 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

1. 合格者は、平成30年1月5日(金)までに納付金を原則として一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。  
※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。
2. 入学手続時納付金  
平成30年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として18頁に平成29年度の納付金を掲載します。  
なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

## 授業料などの延納手続きについて

授業料などの延納を希望する場合は、平成30年1月5日(金)までに入学金を納入すれば、平成30年3月8日(木)まで延納分の授業料などを延納することができます。

## 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、平成30年3月31日(土)16時までに、本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

## 納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部学科または大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部学科または大学院の納付金として転用することができます。この手続方法などについては、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

## 9 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

## IV. 編入学（高等専門学校出身者） — 理学部

### ① 募集人員

| 学 部   | 学 科     | 募集人員  |
|-------|---------|-------|
| 理 学 部 | 物 理 学 科 | 若 干 名 |
|       | 化 学 科   | 〃     |
|       | 数 学 科   | 〃     |

(注) 選考の結果によっては、合格者がいない場合もあります。

### 入学許可学年

原則として3年次に入学を許可します。ただし、試験の成績及び修得単位数等によっては、2年次に入学を許可する場合があります。

### ② 出願資格

高等専門学校を卒業した者または平成30年3月31日（土）までに卒業見込みの者。

※卒業見込みの者が、平成30年3月31日（土）までに卒業できなかった場合は、入学許可を取り消します。

### 出願にあたっての注意

1. 出願後の学科の変更は、いかなる理由があっても認めません。
2. 編入学者は、6年間を超えて在学することはできません。
3. 編入学者の履修科目は、各学科の定めるところによります。
4. 高等専門学校で修得した学科目と単位数の認定（免除及び換算）は、理学部教授会において行います。
5. 入学後に実施する健康診断を受診していただきますので、健康診断書を提出する必要はありません。  
ただし、身体機能障がい等により、受験・就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、平成29年10月19日(木)までに必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。
6. 出願資格及び出願書類に疑問がある場合には、平成29年10月16日(月)～10月19日(木)の間に、必ず本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。この期間に出願資格が確認されていない場合、出願が受理されないことがあります。

### ③ 出願手続

#### 1. 出願期間：平成29年10月30日(月)～11月1日(水)

(郵送に限ります。締切日の消印有効。)

出願期間を過ぎたもの、または出願書類に不備があるものは、受理しません。

#### 2. 出願書類

志願者は、各自用意した封筒（角形2号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類をすべて本学アドミッションセンター宛に簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。**下表の書類以外の提出は、一切認めません。**

なお、いったん提出された書類は、返還しません。

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 1. 編入学志願票                      | <b>本学所定の用紙</b><br>必要事項を記入してください。<br>貼付する写真2枚（縦4cm×横3cm、上半身無帽、正面向き、背景無地、出願前3か月以内に撮影したもので受験時に本人と確認できるもの。カラー・白黒のいずれでも可。裏面に志望学科と氏名を記入の上、全面貼付してください。) |
| 2. 写真票兼<br>入学検定料受取書<br>(大学提出用) |  |

|                    |  |
|--------------------|--|
| 3. 卒業証明書または卒業見込証明書 | 出身または在学の高等専門学校長が証明したもの。<br>証明書に記載されている氏名が婚姻等により現在の氏名と異なる場合、その旨を証明する公的書類（戸籍抄本等）を添付してください。 |
| 4. 成績証明書           |  |

※出願に際し、虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。

#### ④ 出願手続に関する注意

##### 1. 入学検定料 35,000円

- ① 本学所定の入学検定料振込依頼書を使用し、銀行等より電信扱いで振込期間内に振り込んでください。
- ② ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込みはできません。
- ③ **現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込みは使用しないでください。**
- ④ 振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科のコード（2桁）を記入してください。

| 理 学 部   |    |
|---------|----|
| 物 理 学 科 | 41 |
| 化 学 科   | 42 |
| 数 学 科   | 43 |

- ⑤ 振込期間 平成29年10月23日(月)～11月1日(水) **(期間外は取り扱いません)**
- ⑥ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）を他の出願書類と共に提出してください。
- ⑦ 一度提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（19頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。  
また、振込手数料については返還することができません。

##### 2. 受験票 出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

試験日一週間前になっても受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

#### ⑤ 選 考

##### 1. 試験日 平成29年12月2日(土)

##### 2. 試験科目及び試験時間

|         | 筆 記 試 験                |                        |                        | 口頭試問          |
|---------|------------------------|------------------------|------------------------|---------------|
| 物 理 学 科 | 9：00～10：00<br>数学（60分）  | 10：10～11：10<br>物理（60分） | 11：20～12：20<br>英語（60分） | 13：30～<br>面 接 |
| 化 学 科   | 9：00～10：00<br>数学（60分）  | 10：10～11：10<br>化学（60分） | 11：20～12：20<br>英語（60分） | 13：30～<br>面 接 |
| 数 学 科   | 9：00～11：10<br>数学（130分） |                        | 11：20～12：20<br>英語（60分） | 13：30～<br>面 接 |

##### 3. 試験場 受験票にてお知らせします。

#### 受験上の注意

1. 受験者は、試験開始時刻の10分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください。
2. スマートフォン・携帯電話等は、試験場（教室）に入る前に電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話等を時計の代用として使用することは一切認めません。

スマートフォン・携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。

3. 試験開始後20分以上遅刻した者の受験は、認めません。
4. 受験票は、当日必ず携帯し、試験場では机の上に置いてください。
5. 受験票以外に机の上に置くことができるものは、鉛筆・ボールペン・鉛筆削り・消しゴムです。計算及び記憶機能付用品の持ち込みは、禁止します。
6. 試験開始後40分間は、退室を認めません。
7. 不正行為を行った者は、受験資格及び入学資格を失います。

## ⑥ 合格発表

平成29年12月8日(金) 10:00

1. 合格発表は、本学北1号館の北側掲示場（20頁 構内案内図参照）に公示するほか、受験した本人にも通知します。合格者には、併せて入学手続書類を速達郵便で送付します。
2. 合否に関する問い合わせには、一切応じません。
3. 合格者の発表は、本学学内掲示以外にも補助的な手段として、発表日の正午より学習院大学アドミッションセンターホームページ（<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>）でも行います。最終的な合否の確認は、必ず本学学内掲示または郵送による合否通知で行ってください。

## ⑦ 入学手続（詳細は、合格者に送付する入学手続要項で確認してください。）

1. 合格者は、平成30年1月5日(金)までに納付金を原則として一括納入（銀行等振込）のうえ、必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）郵便で郵送して、入学手続を完了してください。上記の締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

※出願時に「見込み（卒業見込み、学位取得見込み、単位修得見込み）」であった者は、後日証明書の提出が必要となります。

2. 入学手続時納付金

平成30年度入学者の納付金は、現在未定のため、参考として18頁に平成29年度の納付金を掲載します。

なお、納付方法及び金額については、入学手続要項に明示します。

## 授業料などの延納手続きについて

授業料などの延納を希望する場合は、平成30年1月5日(金)までに入学金を納入すれば、平成30年3月8日(木)まで延納分の授業料などを延納することができます。

## 入学辞退

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、平成30年3月31日(土)16時までに、本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。

## 納付金の転用について

入学手続完了後、本学の他の入学試験で合格し、本学の他の学部学科または大学院へ入学を希望する場合、本人からの願い出により先に納入した納付金を後に本学の希望する学部学科または大学院の納付金として転用することができます。この手続方法などについては、本学アドミッションセンターへ問い合わせてください。

## ⑧ 教員免許状の取得について

既修得科目の種類や単位数によっては、2年間で免許が取得できるとは限りません。

参考：平成29年度学習院大学入学者納付金

(単位 円)

| 区分<br>費目 | 法学部      | 経済学部      | 文学部  |           | 理学部         |           |           |
|----------|----------|-----------|--|-----------|-------------|-----------|-----------|
|          |          |           | 哲学科・史学科<br>日本語日本文学科<br>英語英米文化学科<br>ドイツ語圏文化学科<br>フランス語圏文化学科 | 心理学科      | 物理学科<br>化学科 | 数学科       |           |
| 入学金      | 200,000  | 200,000   | 200,000  | 200,000   | 200,000     | 200,000   |           |
| 在籍料      | 60,000   | 60,000    | 60,000   | 60,000    | 60,000      | 60,000    |           |
| 授業料 第1期  | 343,000  | 343,000   | 385,000  | 385,000   | 542,000     | 542,000   |           |
| 授業料 第2期  | ※343,000 | ※343,000  | ※385,000   | ※385,000  | ※542,000    | ※542,000  |           |
| 研究実験費    | —        | —         | —  | 30,000    | 80,000      | —         |           |
| 施設設備費    | 280,000  | 280,000   | 270,000  | 270,000   | 330,000     | 330,000   |           |
| 父母会費     | 5,000    | 5,000     | 5,000  | 5,000     | 5,000       | 5,000     |           |
| 輔仁会費     | 6,300    | 6,300     | 6,300  | 6,300     | 6,300       | 6,300     |           |
| 学習院大学新聞代 | 500      | 500       | 500  | 500       | 500         | 500       |           |
| 学会費      | 2,500    | —         | 2,000  | 2,000     | —           | —         |           |
| 入学年度     | 入学手続時納付額 | 897,300   | 894,800  | 928,800   | 958,800     | 1,223,800 | 1,143,800 |
|          | 第2期納付額   | ※343,000  | ※343,000   | ※385,000  | ※385,000    | ※542,000  | ※542,000  |
|          | 合計       | 1,240,300 | 1,237,800  | 1,313,800 | 1,343,800   | 1,765,800 | 1,685,800 |
| 次年度以降    | 第1期納付額   | 697,300   | 694,800  | 728,800   | 758,800     | 1,023,800 | 943,800   |
|          | 第2期納付額   | 343,000   | 343,000  | 385,000   | 385,000     | 542,000   | 542,000   |
|          | 合計       | 1,040,300 | 1,037,800  | 1,113,800 | 1,143,800   | 1,565,800 | 1,485,800 |

※第2期分の振込依頼書は、9月中旬に保証人宛に送付いたします。

注意 1. 2年次以降の納付は、毎年第1期分を4月、第2期分を9月の年2回に分けて行います。

なお4月に年額を1回で納付することもできます。

2. 上記納付金のうち、在籍料、授業料および施設設備費については、卒業まで同額とします。

在籍料、授業料および施設設備費以外の納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとします。

参考：その他資格取得の場合の納付額（教職課程・学芸員課程）（平成29年度）

教職課程：教職課程履修費A 正式履修時、履修者全員 15,000円

介護等体験費 3年次、中学校の免許状取得希望者 10,260円

教職課程履修費B（注）

（注）教育実習校により、教職課程履修費B（教育実習謝礼金相当）が必要になる場合があります。

その場合、3週間実習では15,000円、4週間実習では20,000円が一応の目安となっています。

学芸員課程：博物館に関する科目履修費として履修開始年度4月に10,000円

博物館実習履修費として実習履修年度4月に5,000円

○上記納付金の他に、桜友会基本会費（永年同窓会費：徴収は1回のみ）35,000円を桜友会が入学手続後または在学中に徴収いたします。

桜友会基本会費に関するお問い合わせは、桜友会事務局にご照会願います。

桜友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

寄付金

本学では、新入生のご父母・保証人の皆様に、学習院の発展並びに教育改革推進のためのご寄付（任意）をお願いしております。入学後に改めてご案内をお送りする予定でございますので、ご理解のうえご協力下さいますようお願い申し上げます。

参考：過去の入試結果

【編入学】

| 学部 | 学科         | 平成29年度 |     | 平成28年度 |     | 平成27年度 |     | 平成26年度 |     | 平成25年度 |     |
|----|------------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|    |            | 志願者    | 合格者 |
| 文  | 哲学科        | 1      | 0   | 2      | 0   | 3      | 3   | 4      | 2   | 2      | 2   |
|    | 史学科        | 7      | 2   | 4      | 0   | 7      | 1   | 6      | 3   | 4      | 1   |
|    | 日本語日本文学科   | 13     | 4   | 12     | 6   | 11     | 3   | 6      | 2   | 20     | 6   |
|    | 英語英米文化学科   | 24     | 7   | 25     | 4   | 18     | 5   | 26     | 5   | 24     | 6   |
|    | ドイツ語圏文化学科  | 3      | 0   | 1      | 0   | 0      | 0   | 2      | 0   | 1      | 0   |
|    | フランス語圏文化学科 | 4      | 1   | 8      | 3   | 8      | 5   | 6      | 2   | 9      | 5   |
|    | 心理学科       | 13     | 1   | 9      | 1   | 11     | 0   | 8      | 1   | 17     | 1   |

### 【編入学（学士）】

| 学部 | 学科   | 平成29年度 |     | 平成28年度 |     | 平成27年度 |     | 平成26年度 |     | 平成25年度 |     |
|----|------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|    |      | 志願者    | 合格者 |
| 法  | 法学科  | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 1      | 1   | 0      | 0   |
|    | 政治学科 | 1      | 0   | 1      | 1   | 0      | 0   | 0      | 0   | 1      | 0   |
| 経済 | 経済学科 | 0      | 0   | 1      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |
|    | 経営学科 | 0      | 0   | 1      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |
| 理  | 物理学科 | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |
|    | 化学科  | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |
|    | 数学科  | 0      | 0   | 1      | 1   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |

### 【編入学（高等専門学校出身者）】

| 学部 | 学科   | 平成29年度 |     | 平成28年度 |     | 平成27年度 |     | 平成26年度 |     | 平成25年度 |     |
|----|------|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|--------|-----|
|    |      | 志願者    | 合格者 |
| 理  | 物理学科 | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |
|    | 化学科  | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 1      | 0   |
|    | 数学科  | 1      | 0   | 1      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   | 0      | 0   |

### 参考：入学検定料の返還について

#### 入学検定料返還の対象となる理由

以下のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします。

- 書類未提出：入学検定料を納入したが、出願書類を出願期間内に提出しなかった。
- 期間外振込：振込期間後に振込んだ場合。
- 過剰納入：入学検定料を適正な金額より多く納入した。
- 出願不受理：入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により、出願が受理されなかった。
- その他：本学が認める特別な理由により、入学検定料返還の対象となった。

#### 入学検定料の返還手続（郵送に限る）

必要書類①・②を簡易書留で郵送してください。

(宛先) 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1  
学習院大学アドミッションセンター

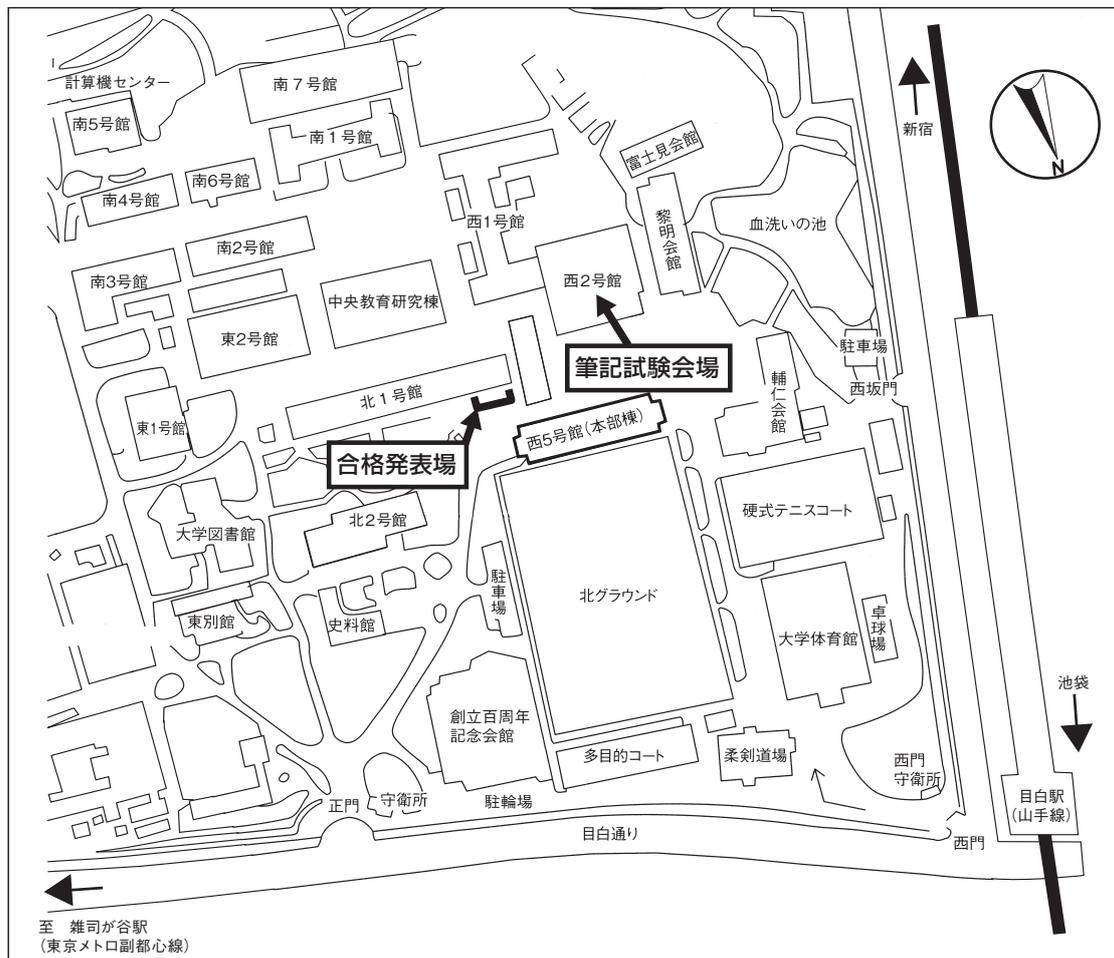
※封筒の表面に「入学検定料返還願在中」と朱書きしてください。

- ① 入学検定料返還願（本学所定用紙）  
「入学検定料返還願」の太枠内に必要事項を記入・捺印してください。「入学検定料返還願」は本学ホームページからダウンロードするか、アドミッションセンターまでご請求ください。
- ② C票／入学検定料受取書（本人保存用）  
「入学検定料返還願」の裏面に、入学検定料を納入した際のC票／入学検定料受取書（本人保存用）を貼付してください。

入学検定料返還願が受理されてから、指定の口座に入学検定料を振込むまで3週間程度時間がかかりますので予めご承知おきください。なお、振込手数料については、返還することができません。

## 構内案内図

アドミッションセンターは、案内図中央に位置する西5号館（本部棟）4階です。



- 交通：JR山手線 目白駅下車 徒歩3分  
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車 徒歩10分  
※自動車による入出、駐車はできません
- 試験場：筆記試験 文・理学部—西2号館  
法・経済学部—受験票でお知らせします。  
面接試験 試験当日にお知らせします。
- 合格発表場：北1号館北側掲示場
- ※お問い合わせは、下記宛に電話でお願いいたします。

### 学習院大学 アドミッションセンター（西5号館4階）

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL (03) 5992-1083・(03) 5992-9226

FAX (03) 5992-9237

窓口受付時間 平日 9:00~11:30、13:00~16:30

土曜日 9:00~12:00

<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>